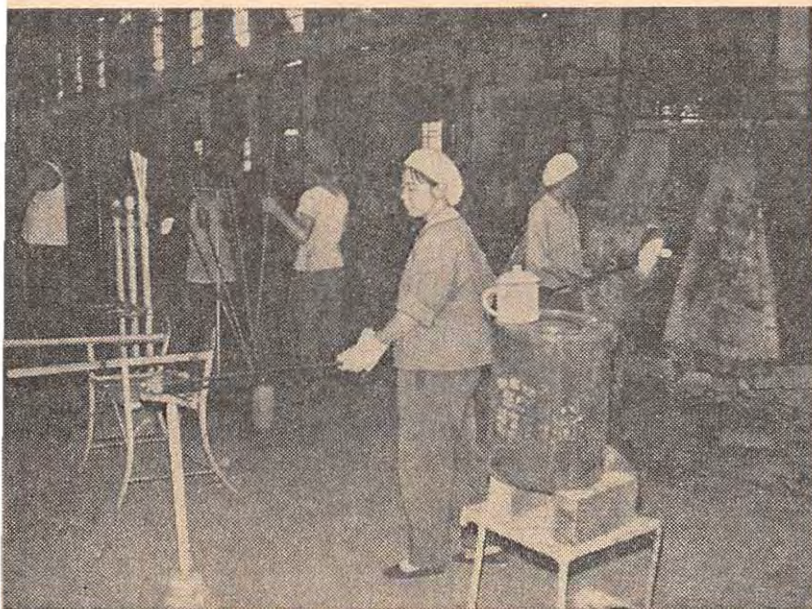


毛・華擁護の鄧小平発言で閉じられるか「パンドラの箱」のフタ

自由化・民主化要求



働けば収入がふえる——目標達成にがんばる
女性労働者（大連のガラス製品工場で）

鄧小平副首相が、天安門事件の責任について、「毛主席に向けるのはちよつと不公平」であり、華

国鋒主席は、当時、実際は行政のほとんどの実務をとっていたのに、「四人組の妨害で、毛主席には会えない状態だった」と、民社党の佐々木委員長に述べたことは、今回の「壁新聞騒動」に終止符を打ったことに、はたしてなるのだからか。

四人組批判は単に政治闘争だけの産物ではない。現実には中国経済が彼らの下で崩壊寸前だった、という破局的状況を反映していたのも事実のようだ。今年の六月の全国財政貿易会議での華国鋒演説でも、それはうかがえた。

これは鄧副首相の「Vサイン」だ、氏が余生のすべてをかけて推進しようとしている「四つの現代化」を実行できる体制固めができたのだ、とする見方がまずひとつある。

これは、現代化を進める現場で、文革時代に幹部にのしあがった「専」（専門家）より「紅」（イデオロギ）優先の「既得権派」が、現代化を実施するうえでの阻害要因になっている。これを駆逐しないことには現代化は達成できない、という「荒療治必須」論にもとづく。

農民は集団化離脱 労働者は意欲減退 最近の「人民日報」は、四人組時代、福建省のある人民公社生産大隊では全戸六百戸のうち、二百戸が単幹（単独経営）に走ってしまった例を報告している。集団耕作から離脱し、出稼ぎに出たり、土地自体の売買まであった、というのだ。その他にも、高利貸しまで出現しているというレポートもある。

それは今回の「闘争」を権力闘争とみて、「現代化派」と「安定団結派」がスクラムを組み、現体制を維持しながら、現代化を推進しようとする方向に、党中央の大勢が決した、という観測だ。

これに対し、いや、必ずしもまだ「Vサイン」とはいえない。現代化を進めるうえに、政治的安定はとりあえず必要、とする鄧小平氏自身の「路線」意識もあるだろうが、むしろ「長老」葉劍英副主席あたりの「安定団結派」の力がまだ現実的に強く、抑えに回った結果が、今回の鄧発言をもたらしたとみる見方もある。

工業の面でも同様のことがい



華国録主席



汪東興副主席

る。

現場で実行する幹部自体が、工業化社会のマインドを理解しえないことが、文革以来十二年のイデオロギー的伝統を出してしまい、新しい経済改革のはつきりした阻害要因になっている。

その口実に使われるのが、「文革の精神に反する」「毛主席の路線に反する」ということ。現在の

決着つくか、文革・四人組への怨念

この二つの意見のギャップは、今回の大字報（壁新聞）の性格づけにもみられる。

ひとつは文革初期のものとは性格を異にする、というものだ。

場所が首都北京、それも天安門周辺に限られ、内容も私事まで広

経済体制の一端で重要な役割を占めている、こうした思想を持つ既得権者の居すわりに対しては、相当の荒療治が必要になってくる。その手段として、文革の否定、毛沢東主席の否定をやらざるをえない必然性はある――。

この見方からすれば、現状を温存したままで収まるわけではない、と見るのは当然かもしれない。

がった文革期のものたちがって、対象が天安門事件に限られ、書き手も都市のインテリ中心で、「管理された」大字報、という性格を感じる、というもの。

一方は、言論の自由化、法体制の整備などまで、内容がかなり一

その、はずみ、が、毛沢東家父

般化し、可能性としては東欧社会主義國の「自由化」路線さえ匂わせる段階にまで進み、すでに大衆自身が「自己運動」をはじめたとする。

今回の鄧発言などをめぐってこのように見方はちがっても、双方に共通するのは、文革中から四人組時代にかけて、痛めつけられていた部分が、いま、黒白をつけてやる、気になっている、という点だ。中国人はこれを「算賬」^{スズンザン}という。

大衆の意識の中では、天安門事件の評価の逆転を唱えながら、いわば天安門事件と、それに伴う鄧小平失脚を代償として台頭した華国録自身に触れないことは、大きな矛盾……すでにそこまで、はずみ、がついている。

その、はずみ、が、毛沢東家父

79 お正月ファミリープラン

楽しい
催しもの

靖国神社初詣・お笑い演芸会（Wけんじ他）
囲碁将棋対局指導・小林女流本因坊・嶋島四段他
高見山関サイン会・ビンゴ大会・ゲームコーナーなど

3泊4日コース
12/31(日)▶1/3(水)

大人 54,000円
お子様 48,000円

2泊3日コース
12/31(日)▶1/2(火)

大人 40,000円
お子様 36,000円

（各コース共・夕・朝食
税・サービス料込）

忘年会・新年会サービスプラン
豪華な宴会場の個室で
30名様以上 お1人様 5,500円より
（ビール1本付・税・サービス料込）



ホテル
グランドパレス

地下鉄東西線〈九段下駅〉徒歩1分

東京・九段
案内所 名古屋 ☎(052)541-1915
大阪 ☎(06)345-1783
福岡 ☎(092)713-1733

1978.12.8

30代の男よ 社長への道を えらべ!!



韓南山社長
孫時英

韓国済州島生れ S.26、京都大学哲学科卒。カトリック教会京都教区の伝道師を経て、現在 焼肉・ステーキ、コーヒーショップの経営者づくりで話題を呼ぶ「南山レストラン大学」の主宰者。
「農業思考」に基づく、そのユニークな人材教育力で飲食業界に頭角を現わし、ジャーナリズムからも「日本的のれん分けの実験者」として注目されている。
全国、47都道府県に門下生による店舗展開がスタートした。
経営の原点を「農業」に求め日本の若者たちに「農業思考」を植えつけることに情熱をもやしている。

焼肉、ステーキ、コーヒーショップ の独立経営者をめざす人!

- ①南山は、「師弟関係」による独立経営者づくりをめざし、全国に500店及び米国、ヨーロッパへの出店を進めています。
- ②「南山レストラン大学」に入学、2年間の調理、接客、経営の研修を終えた者は、「のれん分け制度」による独立店舗の経営者に仕立てます。
- ③資格は、飲食業で身を立てたい39歳迄の大学卒、高校卒の強健な男子。飲食業こそ、基幹産業なり!
- ④南山で学んで故郷で独立を、研修手当は12万から、1年後で16万、2年後で19万。卒業後の独立資金は「全額支援制度」有り!

応募 ●履歴書、写真急送下さい。
●書類送達の上後日通知致します。

〒606 京都市左京区下鴨北山通ノートルダム学院前

焼レストラン **南山** 本社 企画室
TEL 075(711)7751代

長制批判に結びついている、というのである。

その表れとしては、秦の始皇帝を引き合いに出していること。そこで華国鋒主席の昇進の仕方の不透明さが問題になってくる。「あなたが勤めてくれれば安心だ」という一片の「遺言」めいたものだけで、権威づけされてきた華国鋒自身にも、「算帳」してやろうという底流を否定することは、すでにむずかしかる。

毛批判という劇薬のつまった

パンドラの箱を開けたのは、「光明日報」の姚文元論文批判だ。

文革の引き金になった姚文元の「海瑞罷官を評す」は、走資派、公安の妨害にあいながらも、毛主席が七回も手を入れて発表された

次のスケープゴートはだれか

ものの、ということとは、すでに中国周囲の事実。「光明日報」は、毛主席には触れず、江青などの四人組がでつちあげた、として毛主席点を否定するのは難しい。

むしろ、歯止めはかかっているようで、一連の壁新聞の毛批判は、文革初期のことには触れず、天安門事件を中心とした、毛主席の死ぬ半年ぐらい前のことに限定されている。

これは、明らかに「電信柱の倒い」のも郵便ポストが赤いのも、みんな四人組の罪」という批判の仕方が、大衆をすでに説得できなかったことの表れである。

華国鋒主席の「権力」を支えた

会の手で行われ、それを追認する

形であり、今回の鄧発言でも、その裏は微妙にばかされている。

このあたりを、いやそれは北京市のことだから、で納得してしまっているのだから、そのうえ、いかに公式発言とはいえ、外国の政代表団に対してのもので、「国民に納得させる」説明はまたなされてない。

この国の通例として、こうした発言は、やがて「人民日報」「光明日報」などに発表され、中国の大衆の前に公然化されてゆくのだが、はたして、この段階でスケープゴートを出さずにこのまま収まるのか。あるいは、贈される、呉徳紀堂(副首相)、汪東興(副首相)、和田武司(拓大講師)四氏によるシンポジウムを中心にと

今回の騒動の中で、むしろこの

めしました。 本誌・森 忠彦

現代化劇の最後の幕は、まだあ

※この記事は丸山伸郎(アジ

ア経済研究所)、中嶋嶺雄(東外

大教授)、伴野朗(朝日新聞外報